

<選択式>

	A	B	C	D	E
労働基準法及び労働安全衛生法	すべての者	経済生活の安定	生活保障	勸告	作業方法
労働者災害補償保険法	通勤災害	孫, 祖父母及び兄弟姉妹	継続的に又は反復して	2週間以上	労働保険審査会
雇用保険法	同一の事業主の適用事業	短期雇用特例被保険者	高年齢求職者給付金	1年	7日
労務管理その他の労働に関する一般常識	団体交渉	団体行動	労働組合	争議行為	作業所閉鎖
社会保険に関する一般常識	1万	3	12	5千	最高裁判所長官
健康保険法	3月31日	100分の1.5	その年の9月1日	100分の1	社会保障審議会
厚生年金保険法	1,000	5,000	地方厚生局長	代行	50
国民年金法	60歳以上 65歳未満	任意加入被保険者	65歳	付加年金	老齢又は退職

<択一式>

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10
労働基準法 労働安全衛生法	D	B	A	B	D	E	C	C	A	C
労働者災害補償保険法 労働保険徴収法	C	D	E	E	D	B	C	C	D	E
雇用保険法 労働保険徴収法	B	D	D	A	B	C	A	A	C	E
労働及び社会保険に関する一般常識	E	D	B	A	C	E	C	B	E	D
健康保険法	D	E	C	B	A	C	B	B	E	D
厚生年金保険法	E	B	C	A	D	B	C	E	B	C
国民年金法	E	C	D	A	B	C	C	正答なし	D	E

：択一式「国民年金法・問8」については、当塾の速報発表時（8月25日（火））において、正解をDとしたうえ、『「本来の老齢基礎年金の額に減額率を乗じて得た額となる」の箇所は、「本来の老齢基礎年金の額から、当該額に減額率を乗じて得た額を減じた額」となるべきものであり、疑義が残ります。』と指摘してきました。8月28日（金）に、試験センターから、この問8について、「正答なし」とする以下の発表がありました。

「択一式試験問題のうち「国民年金法」の問8について、正しい選択肢について択一すべきところ、本来正答とされるべき選択肢（D）に誤りがあり、正答なしとなった。該当する問題の採点に当たっては、全員正解として処理する。」

したがって、当塾の速報も問8を「正答なし」としました。